

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年 3月 18日

事業所名 チューリップ

保護者等数(児童数) 15 回収数 14 割合 93.3%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	2				配置数や専門性を充実させていくために、職員の増設や専門性を高める教育を充実させていきます
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	5	1			建物のバリアフリー化がおりません。移動等が困難な箇所は、事前に案内と補助を行い、危険や利用のしにくい状況が発生しないよう、注意を払い支援を行ってまいります
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	1				利用者様及び保護者様に満足していただける計画が作成できるよう、連絡を密にし作成に邁進してまいります
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12	2				画一的な支援とならないよう、時期に応じた支援等を計画し実行してまいります
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	10	2		把握できていないのかもしれませんが	利用者と同年代の子達がダンス交流がありました。保護者様の意見を取り入れて交流回数を増加します
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	1				共通理解が浸透できるよう、保護者様との会話の機会を設けることができるよう調整します
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2	1			面談や助言の機会をより多く創出するため、担当者会議や送迎後での支援ができるよう調整してまいります
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	7	2		すみません。行けてないことが多い為、申し訳ないです	できるだけ多くの保護者様にご参加いただけるよう、開催日時を綿密に調整するよう配慮いたします
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	3				利用者様及び保護者様からの声を確実に汲み取り、迅速に対応ができるよう細心の注意を払ってまいります
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1				日々の活動を連絡簿、チューリップ便り、送迎中の利用者様との会話などを通じて意思の疎通がとれるよう配慮しています
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	2				チューリップ便り及びHPでの活動報告をより綿密に行ってまいります
14 個人情報に十分注意しているか	14						
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	5				各マニュアルは策定しておりますので、保護者様への説明を密にしてまいります
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	5	1			非常業務の訓練は行っていますが、年間を通して実施できるよう配慮してまいります
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13	1				利用者様に楽しく利用していただけるよう、職員一同気持ちを新たに邁進してまいります
	18 事業所の支援に満足しているか	13	1				現状に満足することなく、常に新たな取り組みを取り入れ、満足いただける支援ができるよう取り組んでまいります

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月18日

事業所名 チューリップ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		
	2	職員の配置数は適切である	6	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	5	視界を遮る事のないよう、各部屋の仕切りに木製の柵を使用。上部を撤去し、開放感を保っている。	建築年数の長い建物を使用しているため、バリアフリー化ができていない。利用者様の移動等が困難な箇所がある場合は、事前に案内と補助を行い、危険や利用のしにくい状況が発生しないよう、注意を払い支援を行っていく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		保護者等向け評価表による公開を行っているが、職員全員への浸透がなされていなかったため、社員向けの周知を徹底していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	0		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4		専門的なペアレント・トレーニングを行う機会が少ないが、担当者会議者、送迎後の保護者様との会話や、個別の打ち合わせ等において、事業所側が、ペアレント・トレーニングを意識して行い機会を増やしていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0		
	35	個人情報に十分注意している	6	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		